



位相 二元論で「グー」(部分)



機械の虫/2004年



移動と異同/1979年/第34回行動美術展



位相/2004年

田原市博物館 | 平成23年 ● 夏の企画展

Kazuo Hikosaka

# 彦坂和夫展

— 過去・現在・未来をつなぐ創造のふるさと —

平成23年 **7月16日(土) - 9月4日(日)**

休館日 ● 毎週月曜日(ただし、7月18日(月)は開館し、7月19日(火)は休館)

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 ● 一般400円(320円) / 小・中学生無料

毎週土曜日は高校生無料 / ( )は20名以上の団体料金 ● 吉胡貝塚資料館との共通券もあります。

後援 ● 中日新聞社

彦坂和夫は、1935年に田原町に生まれ、仲谷孝夫に美術の指導を受けました。愛知県立成章高校へ進み、行動美術協会会友の大場厚に学びます。大潮会学生の部特選受賞、武蔵野美術大学校(現武蔵野美術大学)西洋画科に進学しました。1957年、行動美術協会展入選、1961年には行動美術協会奨励賞受賞、翌年、会友に推挙。各地で環境汚染の進行を感じた彦坂は、1980年に行動美術協会を退会、翌年から環境保護活動への取り組みを始めます。その意識は、非絵画としての立体芸術に及び、東京都江東区からの依頼による護岸壁画・モニュメントなどで自然と歴史の大切さを訴えます。今回の企画展では、アートをエコロジーに結びつける“自然との共生”をテーマとした画家の魅力を探ります。

ギャラリートーク 7月16日(土) 午前10時 -

展示解説 7月24日(土)・8月21日(土) 午前11時 - / 当館学芸員

同時開催 渡辺華山と斎藤香玉 / 特別展示室 香玉は10歳から華山に絵を学びます。重要文化財椿椿山筆麴町一件日録、華山筆陳居中官女媚秀図、香玉筆華山関羽図写など

展示監修 ワシオ・トシヒコ氏 美術評論家。美術評論家連盟会員・日本現代詩人会会員。駿河台大学・女子美術大学講師を経て、現在NPO法人青木黎「海の幸」会理事。釜石応援ふるさと大使。月刊「ギャラリー」に展評、季刊「美術屋百兵衛」に評論連載中。著書に『具象系絵画の現在』『異色画家論ノート』『現代画家へのメッセージ50人』『ワシオ・トシヒコ詩集』など。

がんばろう東北! 今回の企画展は釜石応援ふるさと大使のワシオ・トシヒコ氏が展示監修しています。

東日本大震災により、被害を受けた方々に心からお見舞いを申し上げます。震災からのいち早い復興を願っています。被災された皆様が心一つにして、この困難を乗り越えていただきますことを心より願っています。



世界の地と図



世界の地と図一啜啄の対話 - / 1997年

田原市博物館

☎22局1720

http://www.taharamuseum.gr.jp